

「海外専門産業医」の配置を

— 海外勤務者の新しい健康管理対策

産業医の知識だけでなく海外勤務者の医療に精通している医師が求められる。

東京医科大学病院 渡航者医療センター

特任教授 濱田篤郎

新型コロナと海外勤務者の健康問題

新型コロナウイルスの流行は、海外勤務者の健康管理において様々な影響を及ぼした。たとえば慢性疾患を治療中の駐在員は、日本に一時帰国ができず、駐在先の医療機関で薬剤を入手せざるを得ない事態が生じた。駐在員のメンタルヘルスにおいても、新型コロナ感染への不安や行動制限などにより、強いストレスを感じる者が続出した。さらに、新型コロナの流行に伴い、麻疹やデング熱などの流行も誘発されており、感染症全般への予防対策の強化が課題になっている。こうした海外勤務者の新たな健康問題に対処する手段として、「海外専門産業医」の配置が提唱されている。

コロナ前から必要とされていた

「海外専門産業医」とは海外勤務者の健康管理を専門に担当する産業医である。今まで海外進出企業では、一般の産業医がこの業務を担ってきたが、海外勤務者の対応には専門の医療知識を要することや、国内の産業医業務が多忙になってきたことなどから、「海外専門産業医」を配置する動きがコロナ前から見られていた。

こうした動きには、海外勤務者への安全配慮という観点からの要請もある。たとえば、慢性疾患のある従業員を海外に駐在させるか否かの判定には、海外の病気や医療に精通した「海外専門産業医」の関与が安全配慮のためにも重要

になる。最近では海外駐在員が高齢化しており、こうした判定の機会が確実に増えていると言えるだろう。さらに、慢性疾患のある駐在員に海外で継続医療を受けさせるためには、海外の医療機関情報や医療費の支払い方法などの専門知識も欠かせないものとなっている。

このように新型コロナ流行前から、「海外専門産業医」の配置は海外進出企業で求められてきたが、コロナ流行により、その必要性はさらに高まってきたのである。

具体的業務とは

「海外専門産業医」の業務内容は、「海外勤務者の健康管理全般への対応」と「海外勤務者個人への対応」の2つに分けられる(表1)。

表1 海外専門産業医の業務

- 海外勤務者の健康管理全般への対応
 - 海外駐在員、海外出張者の健康管理システムの構築
 - 推奨ワケチリスト、健康管理マニュアルの作成など
 - 新規事業展開地域の医療状況調査
- 海外勤務者個人への対応
 - 海外駐在員
 - 派遣前
 - 派遣可否の判定
 - 継続医療者の対応
 - 赴任前ガイダンス
 - 派遣中
 - 派遣中健診の判定
 - 派遣中の健康問題対応
 - 巡回健康相談
 - 海外出張者
 - 出張前の健康相談
 - 出張中の健康問題対応
 - 頻回出張者の過重労働面談

筆者もいくつかの事業所の「海外専門産業医」を嘱託として受けており、その経験などを基に具体的な業務内容を以下に紹介する。

「海外勤務者の健康管理全般への対応」としては、健康管理体制の構築や推奨予防接種リス